



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 株式会社ゴールドウイン 上場取引所 東  
 コード番号 8111 URL https://www.goldwin.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 貴生  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員 (氏名) 二川 清人 TEL 03-3481-7203  
 管理・人事総務担当  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	69,226	△8.7	13,577	△16.2	13,886	△15.8	9,236	△19.4
2020年3月期第3四半期	75,843	19.1	16,197	39.4	16,499	42.6	11,456	50.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 9,245百万円 (△6.8%) 2020年3月期第3四半期 9,919百万円 (40.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	203.62	—
2020年3月期第3四半期	253.07	—

※2019年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	99,058	50,686	51.1
2020年3月期	82,285	46,852	56.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 50,573百万円 2020年3月期 46,757百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	45.00	—
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	45.00	60.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2019年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、2020年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。2020年3月期の第2四半期末配当金を仮に当該株式分割後に換算しますと15円、年間配当金合計は60円となります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	△10.1	12,500	△28.5	13,500	△17.6	9,000	△16.4	198.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	47,448,172株	2020年3月期	47,648,172株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,096,898株	2020年3月期	2,356,156株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	45,363,084株	2020年3月期3Q	45,269,232株

※2019年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

また、2020年9月30日付で自己株式200,000株の消却を実施しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日まで)における我が国経済は、9月から10月にかけては、GoToトラベル、GoToイート等の政府施策や、消費マインドの緩やかな回復を受けることで改善の兆しが認められたものの、11月から都市部を中心に新型コロナウイルス感染症が再拡大し始めると、消費マインドの縮小傾向が強まり、依然として厳しい状況が続いております。

当社を取り巻くスポーツアパレル業界では、大型イベント等の開催延期や中止、外出自粛の影響から、スポーツ需要の縮小傾向が続くものの、キャンプ需要やヨガやランニング等の健康志向の高まりに加えて、テレワーク時における快適な部屋着等の「セルフケア関連商材」といった新たな需要の高まりも見受けられます。

このような状況下、営業概況としましては、アウトドア関連ブランドについては、直営店に加え、スポーツ量販店でのアウトドア業態専門店の新規出店や売場拡大の傾向が強まったことが追い風となり、アウトドア関連ブランドとしては過去最高売上高を達成しました。またeコマース事業は、6月のECサイトのリニューアル後、店舗との連携を強化し、前年同期比2桁増を維持しました。一方、アスレチック関連ブランドは、昨年度の「ラグビーワールドカップ2019日本大会」開催に伴う、「カンタベリー」ブランドの特需分剥落等の影響を受けました。第3四半期としてはコロナ禍の影響を受けつつも、新規需要の創造及び既存需要の掘り起こしを継続したことで、その影響を最小限に食い止め、減収基調に歯止めをかけることができました。

営業利益については、自主管理型売上の回復、返品・値引等の販売ロス低減等により、粗利益率は54.3%と前期同水準を維持した結果、前年同期比減益ではあるものの、売上高営業利益率は19.6%に回復しました。

経常利益については、韓国における持分法適用関連会社であるYOUNGONE OUTDOOR Corporationの業績が堅調に推移したことにより、前年同期比減益ではあるものの、売上高経常利益率は20.1%となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高69,226百万円(前年同期比8.7%減)、営業利益13,577百万円(前年同期比16.2%減)、経常利益13,886百万円(前年同期比15.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,236百万円(前年同期比19.4%減)となりました。

なお、記載金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ16,773百万円増加し、99,058百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加6,726百万円、現金及び預金の増加4,360百万円、土地の増加2,150百万円等があったためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ12,939百万円増加し、48,371百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少1,670百万円、賞与引当金の減少1,038百万円等があったものの、借入金の増加9,620百万円、電子記録債務の増加6,044百万円等があったためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,834百万円増加し、50,686百万円となりました。これは主に、資本剰余金の減少1,175百万円があったものの、利益剰余金の増加4,950百万円があったためであります。その結果、自己資本比率は51.1%となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期連結業績予想につきましては、緊急事態宣言の影響により、都市部を中心に外出自粛が見込まれるものの、第3四半期累計の実績を考慮した結果、連結・個別ともに売上高・利益、全て公表値を上回る見込みとなったことから修正するものであります。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,649	22,010
受取手形及び売掛金	8,663	15,390
電子記録債権	3,188	5,325
商品及び製品	14,173	15,980
仕掛品	54	98
原材料及び貯蔵品	544	612
その他	954	874
貸倒引当金	△10	△16
流動資産合計	45,217	60,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,803	1,729
土地	2,541	4,691
その他(純額)	1,823	1,938
有形固定資産合計	6,168	8,360
無形固定資産		
商標権	2,085	1,869
その他	1,065	1,038
無形固定資産合計	3,150	2,908
投資その他の資産		
投資有価証券	20,740	20,677
差入保証金	2,478	2,519
その他	4,793	4,583
貸倒引当金	△265	△265
投資その他の資産合計	27,748	27,514
固定資産合計	37,067	38,783
資産合計	82,285	99,058

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,641	2,971
電子記録債務	12,784	18,828
短期借入金	—	6,870
1年内返済予定の長期借入金	1,916	2,480
未払法人税等	3,199	2,881
賞与引当金	1,647	608
返品調整引当金	34	127
その他	6,740	6,901
流動負債合計	30,964	41,668
固定負債		
長期借入金	2,109	4,296
退職給付に係る負債	204	192
株式給付引当金	664	754
その他	1,490	1,459
固定負債合計	4,467	6,702
負債合計	35,432	48,371
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,079	7,079
資本剰余金	1,439	264
利益剰余金	44,157	49,107
自己株式	△4,233	△4,144
株主資本合計	48,443	52,306
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△60	366
繰延ヘッジ損益	67	40
為替換算調整勘定	△577	△1,182
退職給付に係る調整累計額	△1,114	△958
その他の包括利益累計額合計	△1,686	△1,733
非支配株主持分	95	113
純資産合計	46,852	50,686
負債純資産合計	82,285	99,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	75,843	69,226
売上原価	34,380	31,605
売上総利益	41,462	37,620
返品調整引当金繰入額	55	92
差引売上総利益	41,406	37,527
販売費及び一般管理費	25,209	23,949
営業利益	16,197	13,577
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	60	54
持分法による投資利益	310	384
その他	51	64
営業外収益合計	429	510
営業外費用		
支払利息	72	98
手形売却損	19	18
その他	36	84
営業外費用合計	127	201
経常利益	16,499	13,886
特別利益		
固定資産売却益	35	0
その他	2	—
特別利益合計	38	0
特別損失		
固定資産処分損	39	0
減損損失	—	3
店舗閉鎖損失	0	22
投資有価証券評価損	33	298
その他	1	—
特別損失合計	74	325
税金等調整前四半期純利益	16,462	13,561
法人税、住民税及び事業税	4,503	3,825
法人税等調整額	440	443
法人税等合計	4,944	4,268
四半期純利益	11,518	9,292
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,456	9,236

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	11,518	9,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	427
繰延ヘッジ損益	2	△14
為替換算調整勘定	△83	2
退職給付に係る調整額	187	158
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,718	△621
その他の包括利益合計	△1,599	△47
四半期包括利益	9,919	9,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,856	9,189
非支配株主に係る四半期包括利益	62	55

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2020年5月14日開催の取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款第36条の規定に基づく自己株式の取得を決議し、2020年12月31日までに自己株式387,300株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が2,599百万円増加しております。

(自己株式の処分及び消却)

当社は、2020年5月14日開催の取締役会において、一般財団法人ゴールドウイン西田育英財団の社会的活動を継続的、安定的に支援するため第三者割当による自己株式の処分を決議し、2020年6月25日の株主総会決議を経て、2020年9月24日付で400,000株を処分いたしました。

また、2020年5月14日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却を行うことを決議し、2020年9月30日付で200,000株を消却いたしました。

以上の結果、資本剰余金及び自己株式がそれぞれ2,643百万円減少しております。これにより、資本剰余金が負の値となったため、繰越利益剰余金1,467百万円を資本剰余金に振り替えております。なお、本件は株主資本における勘定科目の振替処理であり、当社グループの株主資本の合計額に変動はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の当社グループ事業への影響に関しては、感染拡大が年内に収束した場合でも、インバウンド需要の低迷や外出自粛による消費マインドの低下に起因する消費需要の落ち込みが回復するには相応の期間を要するものと予測し、当社では、第70期第1四半期を感染拡大のピークとし、第2四半期より回復傾向が見え始め、第3四半期から第4四半期にかけて回復軌道に乗るとの仮定に基づき固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

なお、2021年1月7日に政府から再び緊急事態宣言が発令されたことにより、営業時間の短縮や外出自粛等の影響が想定されるも、店舗の大規模な休業等は発生せず、業績への影響は限定的と想定しております。従って、当該見積りに用いた仮定は、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した追加情報の内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)および当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。